

## 第2回 六甲山系妙法寺川地域学習ゾーン検討委員会

### 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年12月13日(木) 14:00～16:00
2. 開催場所：神戸市須磨区役所 4F多目的会議室
3. 出席者：

#### 【委員】

宮田 隆夫	神戸大学名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然(六甲全体)
志水 英治	神戸市総合教育センター 授業づくり支援室主任指導員 (前妙法寺小学校長)	自然(郷土)
隈下 潤	神戸市立板宿小学校 教諭	郷土史
田中 敏夫	須磨FRS ネット 代表幹事	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

#### 【事務局】

六甲砂防事務所	綾木副所長、森東課長、杉浦係長
株式会社エイト日本技術開発	田中、松本、松島、嶋田

#### 4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料(資料①～④)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう!妙法寺川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

#### 5. 議 事

1. 開 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ
2. 議事	
(1) 第1回検討委員会議事要旨について	・事務局による説明(資料①)
(2) 本委員会での検討内容・スケジュールについて	・事務局による説明(資料②)
(3) 冊子に関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料③)
意見交換	①不思議編について
	②素晴らしさ編について
	③安全・安心編について
(4) 散策マップ・サブノートに関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料④)
意見交換	散策マップ・サブノートについて
(5) その他、今後の予定について	
5. 閉 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ

## <議 事>

### ●事務所長あいさつ

### ●資料①、② 事務局説明

### ●質疑応答 意見なし。

### ●資料③ 事務局説明

### ●意見交換

#### ①不思議編について

(田中委員)

- ・P1-23、このトンネルの掘削で出た土砂となっているが、天井川の土手そのものの土が鷹取駅から新湊川までの盛土材として使われたということであるので、文章を訂正願いたい。
- ・P1-23、天井川の説明で、川がまわりの2階家の高さ以上あったということがわかるような表現をしてほしい。
- ・P1-22、妙法寺川は板宿の南側で天井川と合流するので、それがわかるような記述にしてほしい。
- ・その他変換ミスや誤植についての指摘（多井畑類層を累層に、3700 万年前の片カッコがない。花こう岩の変換ミス、高倉台の写真の説明の位置のずれなどの指摘）

(宮田委員長)

- ・P1-1、六甲山地の「西のはずれ」は表現としては良くない。南西部などにしてはどうか？六甲山地の西側などと統一する。
- ・P1-2、須磨アルプスという言葉は出てくるが位置が表示されていないので、どこかに位置がわかるようにしてほしい。
- ・P1-3、海岸段丘は、今は海成段丘ということになっている。説明のところで、「海底の浅いところ」となっているが、漠然としている。これは海食台であるので、その言葉を入れて説明すればわかりやすい。
- ・P1-4 の下の図は、右の部分の、300 万年から現代までが圧縮されてわかりにくい。拡大するなどもう少しわかりやすくしてほしい。

(志水委員)

- ・P1-3 で、私の好きな兵庫風景 100 選等にカギカッコをつけるとわかりやすい。

(宮田委員)

- ・P1-8、「鉢伏山もこの頃、北西―南東の両方向からの強い圧力が～」→「鉢伏山もこの頃、北西―南東の両方向からの強い圧縮力が～」がわかりやすい。

(神野委員)

- ・P1-11 の扇状地のでき方を説明する図で、元の河川が残っておりわかりにくい。もう少しわかりやすい図にしてほしい。

(田中委員)

- ・P1-10、平面図は上に、断面図は下に配置した方がわかりやすい。断面の方に A—B（断面位置）を入れてほしい。

(宮田委員長)

- ・P1-10、図の凡例で「有馬断層」となっているのは「有馬層群」の間違いである。また神戸層群は「やわらかい地層」の分類となっているが「かたい地層」なので岩石の分類を変更してほしい。
- ・P1-15、須磨断層を観察できた場所は発見されていませんがとなっているが、実際は発見されている。下の方にある「西須磨では、花こう岩が急傾斜で大阪層群の上に衝上しています」という文章がその

観察内容である。その文を上を移動させて「須磨断層は段丘たい積物や崩壊層でおおわれているため、観察された場所は限られています」などのように記述してほしい。

- ・高取山断層の説明で、「北側の～」は削除してほしい。傾斜角度が書いていないが傾斜角度がわかれば入れてほしい。
- ・P1-14 で須磨断層は曲線で引かれているが不自然である。直線で引いてほしい。

## ②すばらしさ編について

### (田中委員)

- ・P2-9 の写真は、天井川公園ビオトープではなく、東天井川と天井川の合流地点の河原の写真である。かつては神戸市が、最初に公園として整備されていた箇所が河原の広場として利用されている。写真の説明を「東天井川と天井川の合流点付近の川原」などのような説明に変えてほしい。
- ・ウナギを捕ったという記述があるが、千森川ではなく妙法寺川である。河口から 500m 上流くらいのところまでの間である。
- ・P2-27、那須神社となっている写真は那須神社ではなく、那須与市の墓である。
- ・P2-35 の「天井川には天皇池やビオトープなどがあり～」の文章は「天井川には天皇池や天井川公園のビオトープなどがあり～」として、天井川にあるものと天井川公園にあるものとを明確に区別してほしい。
- ・P2-35、「このトンネルは、ドイツの技術を導入して～」とあるが、トンネルだけではなく、砂防ダム自体がドイツの技術であるといわれている。鉄柵、水取り口、パイプなどがドイツ製である。表現を変更してほしい。
- ・P2-5、2-6 で、タデとイヌタデの二つ出てくるが、どちらもイヌタデのように思う。天井川に生えているもので多い植物はヒメツルソバである。ヒメツルソバを掲載すると良い。
- ・アブラゼミが載せられているが、川沿いにはたくさんいるが全体的には減ってきている。ニイニゼミが絶滅している。全国的にも減少しており、ニイニゼミを載せるのはどうか。ミンミンゼミ、ヒグラシを掲載してはどうか。
- ・P2-8 のキアゲハの写真はこんなに黄色くはない。前のページのものが正しい蝶の色ではないか。
- ・P2-3、2-4 の「調べて見よう」は「調べてみよう」とひらがなの方が良い。
- ・P2-15、「開発されて行き」は「開発されていき」とひらがなの方が良い。また「神戸市の一大ベッドタウンとしなりました。」→「神戸市の一大ベッドタウンとなりました。」と修正のこと。
- ・P2-15 の「鄙びた」は難しいのではないか。

### (宮田委員長)

- ・貴重なものについて掲載することや、採取しないことの注意喚起などについて、どのようにしたら良いかご意見を伺いたい。

### (隈下委員)

- ・理科の教科書など、理科の実験で危ないときなどには注意書きをしている。行き過ぎて危険を伴うことも考えておかなければならないことではあるが、あまり何もやらせないのも良くないと思う。赤書きや、赤の印をつけて危険を知らせる、立体的な表現とするなど、目が行くような手立ては必要かもしれない。

### (志水委員)

- ・「この種類はたいへん少なくなっている」などといって貴重なものが掲載されていても、子供たちは見に行くだけで、採ったりすることはないのではないか。実際には子供たちだけで見に行くことは少なくなっており、大人が一緒に行って説明しながら見に行くパターンが多い。大切にしなければいけないものは採らないよう、大人が注意をすれば良いし、コメントを入れて注意書きを添えることで良

いのではないか。

**(香西委員)**

- ・自然観察会をよくやるが、この問題はいつも出てくる問題である。大事にしてください、採らないでくださいと書いてあっても、誰が見るか分からず、欲しくなって持ち帰る人が必ずでてくる。荒らされるのが現実である。この冊子を見るのは子供だけとは限らないので、どこまで載せるべきかが難しい。写真は載せても、生育している場所は特定しない方が良い。

**(田中委員)**

- ・ハッチョウトンボはいないのでは。ほとんど見ることはできない。ミヤマアカネも少ない。コシアキトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマを掲載する方が良い。

**(限下委員)**

- ・図鑑を作るときなどに、分類してたくさん載せるが、多すぎるとほとんど見ない。普段まわりで、すぐそこに見られるものを10種類ほどに絞って載せるなどすると、子供たちが身近にいることを確認できてたいへん興味が高まる。

**(宮田委員長)**

- ・貴重な植物は、写真は載せるが場所は特定しないということで良いか。

**(田中委員)**

- ・カンサイタンポポはたくさん見られる。ミヤマアカネはたくさんないが、マユタテアカネの方がたくさん生息している。

**(宮田委員長)**

- ・どれが貴重かと特定しないで、注意書きをすることにしたい。
- ・次にP2-26の活動団体名の件であるが、記載はこれでよいでしょうか。

**(事務局)**

- ・他の流域では、こんなにたくさんは入れていないが、活動を休止する団体も考えられるので、何年時点での情報であるかということを書いて記述するかどうかである。

**(田中委員)**

- ・たんぼぼ親子クラブが最初に出ているのはちょっと面はゆい。他に昔から積極的に活動している団体も多くある。川で活動しているということのくくりで載せてもらっていると理解している。

**(宮田委員長)**

- ・それでは活動団体を、あいうえお順にして並べることでよろしいでしょうか。

**③安全・安心編について**

**(田中委員)**

- ・P3-9、「震災から11年が経過し」は削除してはいかがか。
- ・P3-24、始まるが漢字になっている。他では、はじまるがひらがなになっているので統一してほしい。
- ・P3-17、「想定津波高さ」は、「想定津波の高さ」の方が良い。
- ・P3-26、「土砂を食い止める働きをします。」→「土砂を食い止める働きをしています。」の方が良い。

**(宮田委員長)**

- ・西暦で書いてあるところと両方書いてあるところがある。( )にして両方書くなど統一してほしい。

**(田中委員)**

- ・コモ江は「薄暗くなっている」の表現は強すぎる。川の周辺が見えにくいほどヨシが茂っていたなどの表現が良い。

**(宮田委員長)**

- ・P1-1など冊子のどこかに、妙法寺川など、本冊子対象の小河川の名前と位置を入れてほしい。

(神野委員)

- ・P1-1 のところに、須磨周辺を拡大したものに、川の名前がわかるような表現にしてはどうか。

#### ●資料④ 事務局説明

##### 散策作マップ

(神野委員)

- ・地図に川の名前も入れてほしい。

(田中委員)

- ・コースを歩く時間はすこしきつところがある。
- ・トイレの位置が入っていない。
- ・高倉台公園は、小学校の西側をまっすぐ上がった方がわかりやすく歩きやすい。
- ・馬の背からすぐに降りているが、まっすぐ行って東山まで行き、そこから降りるのが通常のルートである。
- ・横尾小学校のところは東側を降りた方が近いが、コースとしてはこんなものか。
- ・散策ポイントの戦の濱は、地元の人「いくさのはま」と呼んでいるが、須磨区の冊子では「たたかいはま」となっている。どちらにするのかは悩ましいところである。
- ・3枚目の下のコースは、しあわせの村で止まっているが、もう少し延長して、南の方向に下ってバス道へ行き、白川台バス停まで伸ばした方が良いのではないか。
- ・鷹取駅の南側がスタートとなっているが、北口の方がトイレもあるし歩きやすい。
- ・弘法の井戸は、妙法寺駅から行く場合は、北側に折れて行かずまっすぐ行くと階段があって、六甲縦走のルートになってしまう。駅の北側に行くルートとする方が良い。
- ・北向八幡から行くのであれば、北向八幡の正面、鳥居のところから路地に入って、まっすぐ行けば公園に出る。そのルートが最短である。

(宮田委員長)

- ・3コース目の下の図で、しあわせの村の位置関係がわからない。小さな位置図を入れるとよくわかる。

(隈下委員)

- ・1コース目で友が丘小となっているのは間違いではないか。

##### サブノート

(香西委員)

- ・P17では六甲山地で育っている木を子供たちに学習させるには、子供たちが良く目にする木を中心に載せた方が良い。最近植えられている樹木の方が良い。

(田中委員)

- ・P10の「千森川から500m位のところ」という記述は、本文同様、「妙法寺川の河口から500m位のところまで」というような記述としてほしい。
- ・P9で鏡の井の位置は多井畑であると思われる。
- ・P3の写真で風化した花こう岩となっているが、これは風化していないものではないか。

(宮田委員長)

- ・冊子本文のP1-20で風化していない花こう岩となっている。写真も風化したように見えるので、全体を載せないで、風化していない部分を拡大して載せれば良い。
- ・本文とサブノートの表現をあわせてほしい。

(神野委員)

- ・P5の天井川の図で、道路と河川の一部にだけ色がついているが、よくわかりにくく違和感がある。自

然にわかるような形の図にしてほしい。

(宮田委員長)

- ・以上よろしく反映していただきたい。

### ●その他

来年1月上旬に委員の方々への事前説明を行いたい。

(隈下委員)

- ・この冊子では難しいかもしれないが、わかりやすい表現としては、以下のようなことに気をつければかなりわかりやすくなると思う。
- ・ひとつの文に二つの意味・内容が含まれているものがあり、文章を単純にすること。
- ・イメージ語（～のような）や例示をいれると子供達にわかりやすい。
- ・問いかけ→答えなど文章の骨格を統一するとわかりやすくなる。

### ●閉会挨拶

(神野所長)

- ・今日頂いた貴重な情報、ご意見をもとに、より良い「妙法寺川物語」を作りたいと思う。今後もよろしくお願ひしたい。